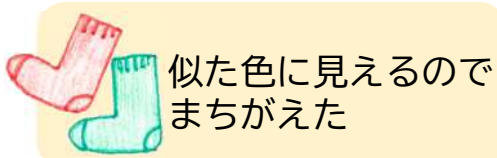


## ⑤加齢による色覚の変化

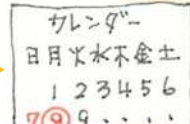
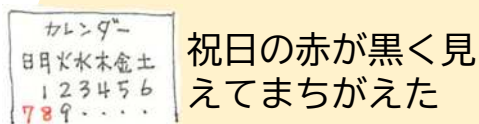


色覚の変化は加齢でも生じます。  
特に青色の判断がし難くなるため、ガスコンロの青い炎が見えにくくなり服に火が燃え移るなどの事故が起きています。

## ⑥色覚多様性の社会へ



しるしをつけたよ



祝日を  
○で囲んだよ

### Take Home Message

- 色の見え方には個人差、多様性があります。
- 色覚について正しい知識を持ちましょう。
- みんなが生活しやすいよう色の環境を整えましょう。
- 情報がきちんと伝わる色使いをしましょう。
- 文字や記号を活用し、情報が得られるようにしましょう。



神奈川県では「カラーバリアフリー 色使いのガイドライン サインマニュアルVer. 2」を作成しています。  
ぜひご覧いただき、わかりやすい色彩表現にご活用下さい。

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/28550/signpdf.pdf>



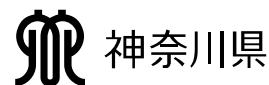
アクセスはこちら

# カラーバリアフリー

～ 色 覚 の 多 様 性 ～



色覚（色の感じ方）は味覚や嗅覚と同じように、ひとそれぞれ違います。このため見分けやすくするためにつけられた「色」が見分けにくいなど色による情報を正確に受け取れないことがあります。



神奈川県

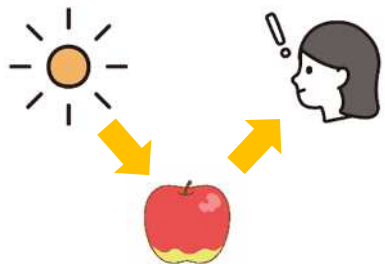
平塚保健福祉事務所

神奈川県平塚市豊原町6-21 〒254-0051

電話(0463)32-0130(代表)

FAX(0463)35-4025

# ①なぜリンゴは赤く見えるの？



リンゴが**赤色**に見えるのは、光源(太陽)から届いた光の波長を目が受け、その波長の信号が脳へ伝わり「**赤色**」だと認識するからです。

# ②3つの要素

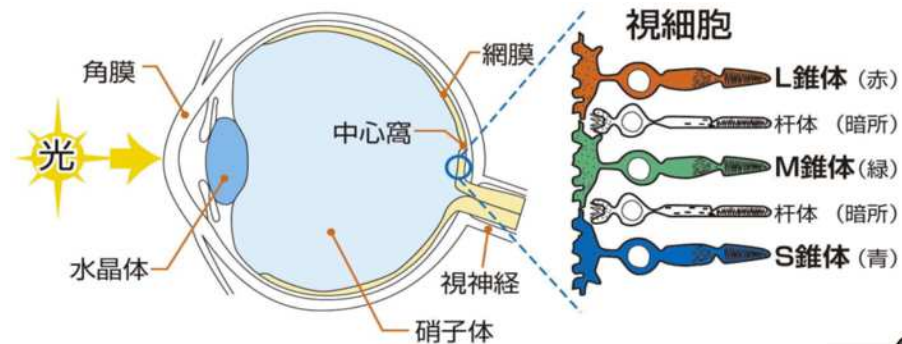


人が色を判断する際に重要なのが **赤・緑・青**の3つの要素です。それらを吸収して、その刺激を色として脳に伝えることで色覚が生まれます。

# ③色覚多様性について

錐体にはL・M・Sの3種類があり、

- ・C型：3つとも機能するタイプ
- ・P型：L錐体が無かったりM錐体に似通っているタイプ
- ・D型：M錐体が無かったりL錐体に似通っているタイプ



日本人男性の約5%、女性の約0.002%がP型またはD型とされており、日本全体で300万人以上います。

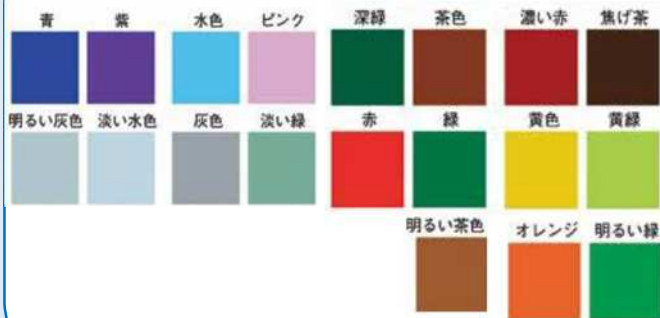


# ④混同しやすい色の組み合わせ例 ~タイプごとのシュミレーション~

近年では色覚が「正常」「異常」というより「**色覚の多様性**」と捉えるべき、という考え方が広がっています。

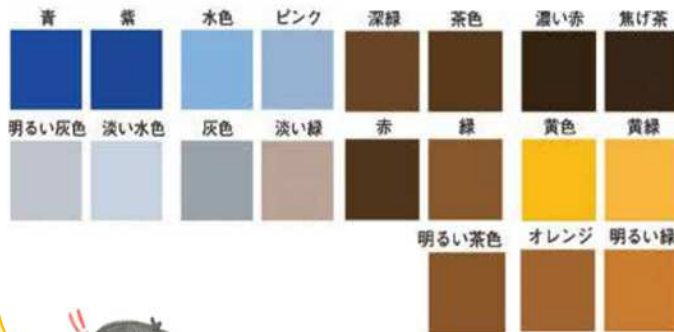
## 一般色覚者の見え方

### C型

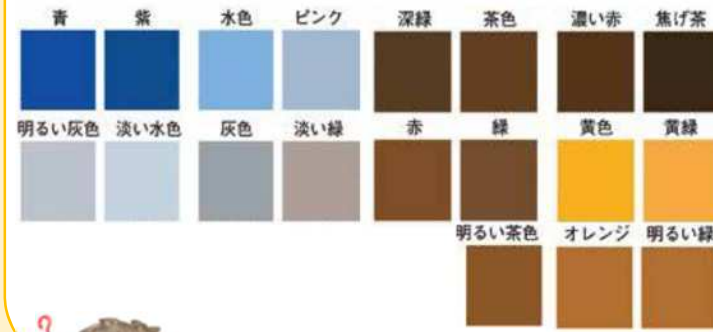


## 色覚障がい者の見え方

### P型



### D型



青・茶・黄色は識別しやすいね。



ピンク・水色・灰色は分かりにくいよ。